

会 告

歯科麻酔専門医申請書類の改定に関するお知らせ

歯科麻酔専門医試験の申請書類は、昨年の認定医の申請書類改定に続き、専門医審査委員会ならびに理事会において、現在の申請書類について見直しが行われ、この度、下記の通り、一部の書式について改定を行いました。

	主な変更点
研修派遣証明書 (様式 3-3) ※新規書類	歯科麻酔学指導施設以外の施設で、歯科麻酔学分野の業務に従事している場合もしくは医科麻酔科研修を行なっている場合に、当該の研修が歯科麻酔指導医の指導のもとで行なっていることを証明する際に使用する。 ※歯科麻酔指導医の証明がない場合、歯科麻酔学指導施設以外の施設での研修は申請に必要となる5年間の専従期間に含めることができない。
提出症例内訳書 (様式 6)	挿管方法に、声門上器具を使用した場合の選択肢を追加した。 医科麻酔科研修における症例を申請症例とする場合は、「医科診療科での麻酔(歯科領域の麻酔)」と「医科診療科での麻酔(医科領域の麻酔)」とに分けて記載する。 ※ここでいう「医科診療科の麻酔(歯科領域の麻酔)」とは、耳鼻咽喉科、形成外科等が担当した症例であっても、手術内容が歯科・口腔外科症例と同等のものをいう。 ※歯科診療科が担当した症例は、「入院症例」と「歯科治療のための日帰り全身麻酔」に分けて記載する。 全身麻酔・全身管理症例の内、全身麻酔と静脈内鎮静法以外の症例はその他とし、内訳(吸入鎮静法、全身管理、心肺蘇生、その他)を記載する。
全身麻酔・全身管理症例一覧 (様式 6-1)	研修施設名の記入欄に、麻酔を担当した施設名と手術を担当した診療科名を記載する欄を追加した。 「手術担当診療科名」には、口腔外科、障害者歯科等の歯科診療科名を記入する。(医科麻酔科研修での症例を申請する場合は、医科の診療科名)
全身麻酔・全身管理症例一覧 (様式 6-1) 疼痛治療症例一覧 (様式 6-2)	各症例一覧表に記載する症例番号は、症例期日にしたがって通し番号として、年月日は、麻酔もしくはペインクリニック施行年月日とする。

※「歯科医師の医科麻酔研修のガイドライン」の制定後、医科領域の症例を申請症例とする場合は、当該症例の麻酔記録(複写)を提出していただいておりますが、今後は、歯科領域の症例であっても手術担当診療科が医科診療科(耳鼻咽喉科、形成外科等)の場合は、事前に麻酔記録(複写)の提出が必要となります。

以上、歯科麻酔専門医申請書類が改定されましたので、関係する会員の方はご注意願います。

なお、平成26年春に実施予定の第10回日本歯科麻酔学会歯科麻酔専門医試験への提出書類は、改定後の書類でご作成ください。

また、書類の改定に伴い、「登録医・認定医・専門医・指導医規則に関わる申し合わせ事項」と「歯科麻酔専門医審査申請書類の記入要綱」の改定も行われました。申請書類作成に関する詳細につきましては、これらをご確認ください。※「登録医・認定医・専門医・指導医規則に関わる申し合わせ事項」(「申請書類作成上の注意事項」のみを抜粋)は本号の巻末、「歯科麻酔専門医審査申請書類の記入要綱」は学会ホームページをご確認ください。

一般社団法人日本歯科麻酔学会
理事長 嶋田昌彦
専門医審査委員会委員長 深山治久